

留学生いわて

2022年度 岩手県留学生交流推進協議会



上野法律ビジネス専門学校国際交流イベント

留学生のみなさんへ

上野法律ビジネス専門学校 校長 久保田 高永



47の都道府県がある日本の中で、岩手県を留学先を選んでくれてありがとうございます。

みなさんの中で、どれだけの人が、世界の日本の、日本の中の岩手の魅力を知って留学先として選んで頂いたかはわかりません。本当は、世界なら、アメリカ・オーストラリア・カナダに行きたかった。日本なら、東京・大阪・愛知に行きたかった人も多いのではないのでしょうか。

岩手県は、47都道府県の中で、人口は32位(1,180,512人)、面積は北海道に次いで2位(15,275km²)です。つまり、人口が少ないのに面積が広いので、1km²当たりの人数が77.28人となり、北海道の65.54人に次いで2位となっています。ちなみに、東京都の人口は14,040,732人、面積は2,194km²なので、1km²当たり6,399.46人も人がいる事になります。※2022年10月1日時点。岩手に来たら、冬は寒く雪が降り、人も会社の数も少なく、遊ぶところもなく、寂しくなり、東京のような都会に行きたいと思った人もいられるかもしれません。

しかし、普段、東京に住んでいる私が言えるのは、岩手の人は、雪のような純白の心を持ち、外の気温が寒い分、温かい心を持っているという事です。東京は、年に数回しか雪は降りません。雪が2cm積もっただけでも交通は大混乱をします。人とぶつからないように歩くには、肩を避けなければなりません。都会は、地方に仕事がなく、仕事をするために仕方なく出てきた人の集まりです。通勤のために1時間以上も満員電車に乗り、真っ直ぐ

歩くことも出来ない所に住みたいと思いますか?みなさんの母国でも、都会は人が多く、物価も高く、仕事のために集まっているのは同じだと思います。

みなさんは、来日前「日本に行って、勉強して、成功する」と思っていたはず。みなさんがいう「成功」とは何でしょう。私は、成功とは、「ご両親を安心させること」だと思います。安心させるというのは、学生生活が終わって、無事に日本で就職、又は母国に帰国して、日本との懸け橋になった時という将来の話だけではなく、留学中の今、現在もご両親を安心させてあげて欲しいのです。昔の留学生は、SNSがありませんでした。寂しくても、困っていても、母国にいるご両親が心配するような弱音を吐くことは出来ませんでした。

今は、SNSがあります。困った時、疲れた時、寂しい時、母国にいるご両親に甘えていませんか?心配させていませんか?遠く離れているご両親に甘えるのではなく、身近にいる温かい心を持っている岩手の人に甘えてください。困る前に、疲れる前に、寂しくなる前に、学校の先生を親と思って甘えてください。そして、ご両親は、安心してあげてください。

ご両親には、SNSで「岩手県は、日本国内でコロナウイルスの患者さんが出たのが、最も遅い県で、今までコロナになった感染者数は、東京都が4,245,277人(1位)で岩手県は223,686人(39位)なんだよ※2023年1月25日16:00時点。そして、アメリカのニューヨークタイムズは「2023年に行くべき52カ所」を旅行欄で特集して、1カ所目のロンドンに続き、2カ所目に岩手県盛岡市が「歩いて回れる珠玉の街」として選出されたよ。」と送って、安心してあげてください。

みなさんが、岩手を留学先を選んだことが、「成功」となるよう全力で応援します。

岩手県留学生交流推進協議会総会

岩手県留学生交流推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ紙上会議（令和5年1月19日～令和5年1月27日）で開催し、29の構成団体から回答を得ました。

総会では、令和4年度事業計画として、①広報誌「留学生いわて」No.35の発行、②“岩手のいいところ”日本語スピーチコンテストの開催について、それぞれ審議のうえ実施することとしました。

また、令和3年度事業として、①総会の開催、②広報誌「留学生いわて」No.34の発行、③みんなの動画で岩手をつなげよう「ハッピーニューイヤー動画コンテスト」の実施について報告があり、さらに令和4年度地域交流等実施計画調査、岩手県内高等教育機関（大学・高専）留学生データについて報告がありました。

“岩手のいいところ”日本語スピーチコンテスト実施報告

令和4年度事業として「“岩手のいいところ”日本語スピーチコンテスト」を実施しました。

平成25年度から実施してきた「岩手のいいところ写真展」は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、令和2年度は特別企画として「with コロナ時代の留学生たちは？」をタイトルに作文コンクールを、令和3年度は「みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト」を開催してきました。今年度は、留学生が岩手で学習・生活していく中で感じたこと、発見したこと、これから挑戦してみたいこと、またはコロナ禍で工夫して達成したことなどを日本語でスピーチしてもらいました。

岩手県内の高等教育機関に在学している留学生を対象に募集したところ、11名の応募があり、所属機関別では岩手大学から6名、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校から3名、上野法律ビジネス専門学校から2名（当日1名がキャンセル）となり、当日は10名の留学生が出場しました。スピーチコンテストに参加した留学生はとて緊張している様子でしたが、「岩手で発見したこと」、「日本で成長したこと」、「私と盛岡」など、それぞれのタイトルに沿って日本語でのスピーチを競い合いました。※スピーチ内容は4ページ以降をご覧ください。

スピーチコンテストの審査員には、本協議会の小川会長（岩手大学長）をはじめ、岩手県ユネスコ連絡協議会長三田地宣子氏、岩手大学理事（教育・学生担当）・副学長喜多一美氏、盛岡市役所交流推進部文化国際課主事木村隆明氏の4名が務め、「予想した以上に、皆さんの日本語能力が高いということがとても良くわかりました」、「皆さんが日本を知りたいと思い、留学されていることはとても素晴らしいことだと思います。そして皆さんの日本語のスピーチは大変素晴らしかったです。」「今日は本当に楽しい時間を過ごさせていただいてありがとうございました。これを機会に岩手や盛岡ともしっかりと絆を深めていただきたいと思います。」と、好評をいただきました。

コンテスト開催にあたり、協議会構成機関より、たくさんのご協賛をいただき誠にありがとうございました。受賞した留学生には、図書カード、南部せんべい、沿岸水産加工品、南部鉄器風鈴、お菓子などが副賞として一人一人に渡されました。

“岩手のいいところ” 日本語スピーチコンテスト

1. 開催趣旨・内容

岩手県内の高等教育機関に在籍している留学生を対象に、留学生が岩手で学習・生活していく中で感じたこと、発見したこと、これから挑戦してみたいこと、またはコロナ禍で工夫して達成したことなどを日本語でスピーチしてもらいます。

スピーチコンテストは一般市民の視聴を募り、留学生と地域住民の相互の国際理解を深めるとともに、多様な視点から岩手の良さを再発見していきます。

2. テーマ

① 岩手で見つけたこと

※岩手にきて学習・生活していく中で感じたこと、発見したこと、これから挑戦してみたいことなど

② コロナ禍でできたこと

※新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、努力してできたこと、これから頑張りたいことなど

3. 応募資格

本協議会に加盟する岩手県内高等教育機関に在籍する外国人留学生

4. 募集期間

2023年1月23日（月）から2023年2月6日（月）

5. 開催日

2023年2月11日（土）14:00～16:00

6. 応募について

- 第1部：日本語の学習時間が1年未満の方 募集人数：7名ほど
- 第2部：日本語の学習時間が1年以上の方 募集人数：7名ほど
- スピーチ時間：5分／1人
- 各部門最小5名以上から実施
- 応募フォームから申し込んでください。

7. 応募するときに注意すること

- ①スピーチの内容は、未発表のものに限ります。
- ②スピーチコンテストは一般公開とし、どなたでも視聴できます。
- ③スピーチの内容は、本協議会の広報誌「留学生いわて」に掲載します。

8. 表彰について

審査員の採点により賞状と副賞を授与します。

9. 協賛団体等※五十音順

※ご協賛いただきましたみなさま、誠にありがとうございました！

- | | |
|---------------|----------------|
| ○岩手県教育委員会 | ○（公財）岩手県国際交流協会 |
| ○岩手県ユネスコ連絡協議会 | ○盛岡市 |
| ○岩手県立大学 | ○宮古市国際交流協会 |
| ○岩手大学 | ○山下善昭（軽米町・個人） |



「岩手のいいところ」日本語スピーチコンテスト 受賞リスト

賞名	受賞者	出身国	学校名	タイトル
岩手県留学生交流推進協議会長賞(ベスト賞)	XU JIAAN (ジョ カアン)さん	アメリカ	岩手大学	岩手の秋と冬
岩手県国際交流協会賞	MAHATO TARA DEVI (マハト タラ デビ)さん	ネパール	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	岩手で発見したこと
岩手県立大学賞	THARU DHAN KUMARI (タル ダン クマリ)さん	ネパール	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	岩手で発見したこと
三陸みやこ賞	XIAO ZIFAN (ショウ シハン)さん	中国	岩手大学	私と盛岡
盛岡市賞	HRIDOY MD JAHID HASSAN (フリッドイ エモデザヒド サハン)さん	バングラデシュ	上野法律ビジネス専門学校	岩手で発見したこと
いわてユネスコ学生賞	YANG DAQIAN (ヤン ダチェン)さん	中国	岩手大学	災害と私たちの生活
事務局特別賞	MUNKHZAYA TSETS OYUN (ムンフザヤ ツェツェ オユン)さん	モンゴル	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	岩手県に来て私の学んだこととこれから学びたいこと
奨励賞	GAO BING (コウ ヒョウ)さん	中国	岩手大学	日本で成長したこと
	LYU JING JING (ロ ショウ ショウ)さん	中国	岩手大学	知らない人と話し岩手いいところ
	NGUYEN TRUNG DUNG (グエン チュン ユン)さん	ベトナム	岩手大学	岩手で見つけたこととコロナ禍でできたこと





岩手県留学生交流推進協議会長賞(ベスト賞)

岩手の秋と冬

XU JIAAN (ジョー カアン・アメリカ)

岩手大学

皆さん、こんにちは。中国の寧波大学からのジョカアンと申します。

この度、岩手大学に交換留学させていただくことになり、心より嬉しく存じます。岩手大学で新しい知識を学ぶとともに、岩手の風景も拝見させていただきました。今日は岩手の秋と冬についてお話したいと思います。

岩手に到着したのが九月の末です。初めて盛岡に着いた時、夜は思った以上に寒かったです。しかし、昼になると、また凄く暑くなり、驚きました。後で調べて見ると、岩手の気候について色々面白いことが分かりました。岩手は、夏に太平洋高気圧の勢力が強まると、南風と強い日射により北国とはいえ猛暑日を記録するほどの暑さとなることもあります。そして、岩手県は東北地方の太平洋側に位置し、気候区分的には太平洋側の気候とされます。また、盛岡市は周囲が山に囲まれ、盆地のような地形なので、夏は暑く冬は寒いです。

秋の盛岡は、都会にいながら、自然を楽しむ事もできるちょうどいいところです。10月末頃、私は渡雲橋を渡り二ノ丸へ、紅葉を眺めながら盛岡城跡公園へ向かいました。公園内を眺めると、お城の中が赤や黄色で綺麗に染められていて、鮮やかな落ち葉の絨毯が見つかりました。天気の良い日に、こころ和む景色をみながら、紅葉狩りが気持ちいいです。岩手の紅葉名所は、盛岡城跡公園だけではなく、中尊寺の弁財天堂、八幡平市の松川溪谷玄武岩も美しい赤や黄に彩られた紅葉の景色の絶景スポットです。また岩手に来る機会があれば、是非見に行きたいと思います。

盛岡の秋は短いです。11月の中旬になると、初雪が降りました。私は子供の時からずっと雪が降らないところに住んでいたので、本物の雪を見るのが初めてです。初めて見た雪はふわふわで、まるで真っ白なマシュマロのようで、今でも忘れられないです。確かに、雪は綺麗です。しかし、初雪とともに、気温も一気に下がりました。

冬の岩手県は、全体的に寒冷的な傾向が強く、盛岡市街地が-10℃の冷え込み、本州で最も寒い場所の一つとも言える環境です。盛岡など北上盆地周辺は、大雪は少ない地域ですが、一定の積雪になることが多いため、少ない積雪でも「根雪」状態になる場合があります。今年の2月1日、盛岡はこの冬1番の大雪となっていました。町の中の積雪の深さに驚きました。私は舞う雪を眺めながら、この滅多に見られない景色を写真で記録しました。

月日の経つのは早いです。私は二月の末に国へ帰ります。岩手で見た景色、体験したことは一生忘れられないです。またいつか岩手に来るでしょう。その時を私は楽しみにしています。ご清聴ありがとうございました。



岩手県国際交流協会賞

岩手で発見したこと

MAHATO TARA DEVI (マハト タラ デビ・ネパール)

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

はじめまして、こんにちは皆さん。

私はマハト タラ デビと申します。出身はネパールです。26歳になりました。今は盛岡情報ビジネス専門学校で日本語を勉強しております。よろしくお願いいたします。

今日は日本とネパールの働き方について話したいと思います。日本ではアルバイトをしながら生活しています。いままで盛岡でいろいろな所で働きに行きましたが、一番びっくりしたのはどこでも女の子が多く働いていることです。初めてお弁当の工場に働きに行きましたが、そこでは女の子が多くて男の人が本当に少なかったです。

ネパールでは例えば、会社とか工場では男の人が多く働いています。女の子は早く結婚するので早く子供が生まれます。だから外の仕事はやることができないと思います。田舎では二十歳にならない人も結婚します。今はちょっと変わっていますが、それでもほとんど全員が結婚します。そしてネパールでおばさん、おじさん、子供たち、家族は皆一緒に住んでいますから、家の仕事が多くて外の仕事をやることができません。

日本では女の子が外で働いていて羨ましいです。働く自立もできるし、いい経験がたくさんできます。ネパールでは昔より女の子も働けるようになりましたが、まだ仕事の種類は少ないです。やりたくてもやってはいけない仕事や、周りの人からやめた方が良くと言われる仕事もあります。日本の人は自由でいいなと思います。これからのネパールが日本と同じように安全で自由な国になればいいと思います。

以上です。ありがとうございます。



岩手県立大学賞

日本で成長したこと

THARU DHAN KUMARI (タル ダン クマリ・ネパール)

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

初めまして。こんにちは皆さん。

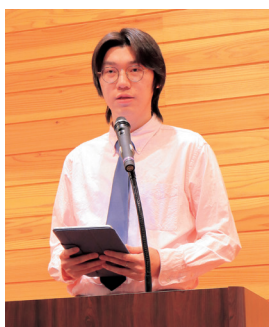
私はタル ダン クマリと申します。ネパールから参りました。21歳になりました。今は盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校で勉強しております。どうぞよろしくお願いいたします。

この機会を与えていただきありがとうございます。今日は岩手で発見したことについて話します。

日本はとっても寒いです。そしてたくさん雪が降るともっと寒くなります。夜アルバイトへ行って朝帰るとき、雪で寒くなってとっても大変です。道を歩くとき、雪で滑りやすいです。だから生活をするのに大変になります。でも、この間日本人に便利なものを教えていただきました。例えばホッカイロやスパイクなどです。ホッカイロを体に貼ると暖かくなります。そしてスパイクを靴に着けると歩くとき安全です。それはとても良いと思います。ネパールでは寒いとき、たくさん服を着て焚火を作って温めます。そしてあまり出かけません。

私はネパール人にも日本の便利なものについて教えたいです。でも一つだけ不思議なことがあります。盛岡の人はとっても寒くても薄い服を着ていることです。短いスカートを穿いて歩く人もいました。そして中学生の制服もスカートでした。それはちょっと不思議なことだと思います。あの人たちは体をもっと大切にされた方が良くと思います。

以上です。ありがとうございます。



三陸みやこ賞

私と盛岡

XIAO ZIFAN (ショウ シハン・中国)

岩手大学

皆さん、こんにちは。寧波大学のショウシハンと申します、今日は私と盛岡についてお話します。よろしくお願ひいたします

盛岡と言ったら、一番印象深かったのはなんでしょうか。南部富士と呼ばれている岩手山なのか、岩手の母なる川である北上川なのか、それとも、昔から地域の人々の大いなる崇敬を集めている八幡宮なのでしょうか。今日は、この半年間で私が見てきた盛岡をお伝えしたいと思います。

盛岡に着いた初日に驚いたのは、駅の近くでみえる富士山のように美しい山があったことです。いままで山なんかに興味はなかったのですが、広い空に堂々と立つ猛々しい岩手山のその姿に釘付けになりました。私の住むところからも岩手山が見えるのですが、くっきりそのお姿が初めて見た日は、いまだに惚れしています。

盛岡は四方山に囲まれています、どの山も青くてとても素敵です。山が青く見えるのは空気がきれいだからです。そのおいしい空気があるからこそ、夕焼けもびっくりするくらいきれいに見えます。夕日が沈むところなんて、盛岡に来るまでは普段の生活の中で見る機会ほとんどなかったのですが、ここでは建物が低くて山がきれいなので天気さえ良ければ毎日のように見えます。夜になると、星空も明るく輝いています。初めて望遠鏡で星座を見た時の胸のわくわく感がいまだに忘れられないです。その輝く星空の姿も私の心の中に刻んでおきました。

この半年間、春の桜と夏のさんさ踊りが見られなかったのも惜しかったですが、秋の紅葉と冬の雪も満喫できました。小さい頃から南の方で生まれ育った私には、厚く積もった雪は見たことがない、初めて2、30センチメートルに積もる雪を見たとき、驚きました。雪で街が埋められると、音が響かなくなるのでしょうか。妙な静けさが街中を支配します。そのなかを靴でパサパサと雪を踏み鳴らして歩くのも面白かったです。そして雪に光が反射するのか夜でもなんだか薄らか明るいので、実に絶景です。

盛岡は都市といえ、歌舞伎やテーマパークなどの娯楽や、大きな百貨店がなかったりはしますが、必要なものは基本なんでもあり、かつたくさん自然にも囲まれているので、とても環境のいい都会なのです。余分なものがない「ちょうどいい」街といえるかもしれません。

盛岡の良さが少しでも広がることを祈って、例え間もなく帰国するとしても、家族や仲間にこの魅力のあふれる町を紹介することをたのしみにしています。盛岡との出逢いに心から感謝します。



盛岡市賞

岩手で発見したこと

HRIDOY MD JAHID HASSAN (フリッドイ エモデ ザヒド サハン・バングラデシュ)

上野法律ビジネス専門学校

みなさま、こんにちは。バングラデシュから来たフリッドイ エモデ ザヒドハサンと申します。今、留学生として岩手県盛岡市にある上野法律ビジネス専門学校日本語学科で勉強しております。今回スピーチコンテストに参加できて、とてもありがたく思います。これから「岩手で発見したこと」について話します。よろしくお願いします。

私の住んでいる盛岡市を紹介します。盛岡市は岩手県の県庁所在地で、東京から北へ新幹線で2時間半。三方を山に囲まれ、複数の河川に恵まれた盛岡市は、交通の便が良く魅力的な都市です。

岩手に来て発見したことがいくつかあります。

まず一つ目が雪です。日本に来て私は初めて雪を見ました。バングラデシュは雪が降らないですから、盛岡で初めて雪を見て楽しかったです。雪の中で友達と遊びました。本当に私は嬉しかったです。私達は学校のバス旅行でスキーに行きました。私は初めてスキーをしました。スキーをする時たくさん転びましたが楽しかったです。またスキーに行きたいです。しかし、最近たくさん雪が降るので生活がちょっと大変です。学校に行く時、自転車に乗られません。歩くのも大変です。早く春がきてほしいです。

二つ目は日本のルールです。日本のルールについてインターネットでいろいろな番組をバングラデシュで見ました。でも日本に来た後で、ちょっと心配しました。特に道路を渡るときに心配でした。バングラデシュでは赤信号でも歩く人や停まらない車が多いです。でも学校の先生から日本のルールを聞いて安心しました。今、日本のルールを身に付けました。日本のルールが大好きです。バングラデシュに帰ったら日本のルールを教えたいです。

三つ目は学校についてです。私の学校はとてもいい学校です。学校の勉強のルールはとてもいいです。学校のルールがいいため学生もよく勉強しています。特に言いたいのは学校の先生は優しいです。先生達は手伝ってくれます。先生達に「ありがとうございます」と言いたいです。

最後に岩手県も美しいですが、私の故郷バングラデシュも美しい国であることを知ってほしいです。バングラデシュの首都はダッカです。ダッカはきれいな町です。世界の中で有名な町です。この国にはたくさん川があります。そして世界最大のビーチがあります。

最後にみなさんに伝えたいことは、私はバングラデシュを愛し、日本を愛し、盛岡の街を愛しているということです。ご清聴ありがとうございました。



いわてユネスコ学生賞

災害と私たちの生活

YANG DAQIAN (ヤン ダチェン・中国)

岩手大学

皆さん、こんにちは。私は楊大千と申します。中国からの留学生です。故郷は西安市です。今、岩手大学大学院理工学研究科の博士二年生です。研究分野は災害社会学と都市計画です。現在、災害・防災に関する研究をしています。よろしくお願ひ申し上げます。今日、私のテーマは「災害と私たちの生活」です。

まず、災害は何ですか？一般的に、災害と自然現象の違いがあります。災害の対象は人々あるいは人間社会です。例えば、誰も住んでいない場所で大規模地震が発生したら、これは自然現象で、災害ではありません。すなわち、人々あるいは社会に対する被害がなければ、災害と言わないです。日本には『災害対策基本法』があります。この法の中で、災害は暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑り、火事による被害のことを言います。ともに、社会学の中では、これらの災害のほかに、戦争、コロナなども災害です。そこで、災害は自然災害と人為災害、複合災害と複合災害の三つに分類されます。

それで、なぜ、私は災害に関する研究をしているか、説明したいと思います。中学校2年生の時、2008年5月12日午後2時28分、四川大地震が発生しました。その時は、自習の時間でした。右隣の友人が私に対して「机を揺らなさい」と言いました。そして、外をみると、電柱が揺れているのが分かりました。2分後ぐらいに、揺れがだんだん強くなり、強い地震が来たと分かりました。クラスリーダーだった私は、クラスメートに逃げろと指示しました。中国では、1976年唐山大地震が発生して以来、大きな地震が起きていなく、四川大地震でほんどの人びとは初めて大地震を経験して、どのような対応をすればよいが知らなかったです。

2011年3月11日14時46分、日本の東日本に位置する太平洋三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が発生しました。当時、高校二年生の私はニュースで災害の恐ろしさを感じました。その時災害に関わる専門を勉強したい、被災者をサポートしたいと強く思いました。

そして、私は中国の華北理工大学に入学しました。この大学は、1976年に大地震が起きた河北省唐山市にあります。研究として、唐山大地震(1976.7.28)の被災者の調査を行いました。卒業後、災害についてももっともっと学びたく、岩手大学に留学しました。

修士課程の時、私は麦倉先生の下で、四川大地震と東日本大震災に関する比較研究を行いました。外国人留学生と日本人学生の防災意識に関する比較研究でした。在学中は岩手県大槌町へ良く行きました。被災地に行って、現地の方々と話す機会がたくさんありました。皆さんは、留学生の私を「孫」のように可愛がってくれました。おかげさまで、被災地での聞き取り調査は順調に行われ、私の修理論文も無事に提出できました。

今は、理工学研究科の博士課程に進学して、南先生の指導の下で、被災地の方々のための研究を続けています。

皆さん、地震が発生したら、自分の家から一番近くの避難所はどこかわかりますか？手を挙げていただけますか？ちなみに、岩手大学の場合、避難所は岩大ではありません。岩大は洪水と火事の避難場所です。

もう一つお聞きします。津波は大きい波だと思いますか。はいと、思う人は手を挙げてください。実は、津波は「波」ではありません。たくさんの水です。この水の中には、木とか、車とか、倒れた建物などが含まれています。1mの洪水や津波の死亡率は100%とされています。日常生活の中で、ハザードマップは持っていますか？非常時袋は準備していますか？

これはとても重要です！日本人では、災害時の自助、共助、公助が大事です。その中でも自助、自分で自分の命を守ることが一番大事です。みなさん、ぜひ覚えて欲しいです。

将来、私は博士学位を取ったら、中国と日本の災害研究の架け橋になって、誰も被災しない社会を作っていくために、頑張ります。

ありがとうございました。



事務局特別賞

岩手県に来て私の学んだことと これから学びたいこと

MUNKHZAYA TSETS OYUN (ムンフザヤ ツェツェ オユン・モンゴル)

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校

こんにちは！皆様。

去年の3月にモンゴルから来たツェツェオユンと申します。これから日本に来て、何を学んでいるというテーマで発表させていただきたいと思います。どうぞよろしくおねがいいたします。

皆様、先月にニューヨークタイムズが発表した「2023年に行くべき52カ所」に岩手県盛岡市選ばれたことを知っていますか。

このニュースを読んで本当に嬉しかったです。なぜかという、私は日本、特に盛岡市に来た時から自然、食べ物と天気を見て天国みたいだと思いました。

しかし、盛岡市の人々を見て驚きました。とてもものんびりし、人間関係が優しくて、ストレスがなくて、幸せに見えました。多分盛岡へ来る前に東京と同じだと思っていたからでしょう。外国人にとって、日本人と日本語で話すとき、相手がよく聞いてくれることで、上達しています。私は今日本語学校で勉強しながら、コンビニと寿司屋さんで働いています。

そして、市役所とご協力して児童センターの子供たちにモンゴルについて2回紹介しました。また3月にJRラインの社員たちにも紹介します。子供たちと会ったとき、モンゴルについてのイメージがあまりなくて、モンゴル人を見るのが初めてと言われました。そして、紹介が終わって帰るとき、「モンゴルについてたくさん知ることができました、ありがとうございます」、「また来てください、待っています」と言われました。このように、日本人にモンゴル文化やモンゴル人についてたくさん教えたいと思いますし、そのために日本語ももっともっと頑張って勉強します。

3カ月前に「zontaクラブ」というスピーチコンテストに観客として参加して、私もスピーチをしたいと思っていたところ、このコンテストに参加できてとてもありがたいです、

これから勉強を頑張って、来年には岩手大学の理工学部の入試を受ける目的があります。私のお母さんは岩手大学で学んでいます。お母さんと一緒に勉強するために勉強を頑張ります。ご清聴ありがとうございました。



奨励賞

日本で成長したこと

GAO BING (コウ ヒョウ・中国)

岩手大学

皆さん、こんにちは。コウ ヒョウと申します。岩手大学の二年生です。私が岩手に来てどのようにして自分に勝つことができたかについて発表します。よろしくお願いいたします。

四ヶ月前に、私は初めて中国から日本に来ました。一人暮らしを始めたばかりの時は寂しかったです。部屋の中には、見知らぬ家具しかありませんでした。朝起きてから、母に連絡して、「何もしたくない、何もできない」と話しました。生活も思う通りにうまく行きませんでした。自分は周りの人より本当に弱いんだと落ち込んでいました。それから、自分はこのような弱い自分を変えるために、どのような工夫が必要なのかと色々考えましたが、日本での生活に対する不安な気持ちが非常に大きいままの状態で一週間を過ごしました。辛い毎日でした。

しかし、ある日、コンビニであった一人の男の子がその不安な気持ちを変えてくれました。その子は五才ぐらいで、お兄さんと一緒に朝ごはんを買っているようでした。歌を歌いながらコンビニの店内で歩き回っていました。その後、レジで二人は私の前に並んでいました。突然、男の子は振り向いてずっと私の顔を見ながら、にっこりと、「おはようー」と言ってくれました。私も慌てて「おはようー」と返しました。その瞬間、パッと心が晴れました。そうです。なぜそれまでの私は気づかなかったのでしょうか。私の周りの人々は美しく、日々の暮らしも美しいです。自分の未来もきっと美しいのだと感じました。それから、もう一つ「おはようー」という言葉は私を励ましてくれる言葉です。その頃から、私は徐々に変わり始めました。一人暮らしは寂しいので、毎日自分に「おはよー」と言い、積極的に友達作りをしました。また、自分は勉強不足なので、毎日の授業で出会う先生に「おはようございます」と言い、教科書を読み込んでいると感じます。

では、どうして「おはようー」という普通の言葉にそこまでの力があるのでしょうか。それは私をポジティブにしてくれるし、あり触れた毎日を素晴らしいと感じさせてくれる魅力があるからです。皆さんも慣れない環境で不安なこともたくさんあると思いますが、様々な困難を乗り越えられるように毎日を本気で過ごしましょう。

以上で終わります。ご清聴ありがとうございました。



奨励賞

知らない人と話し岩手いいところ

LYU JING (ロ ショウショウ・中国)

岩手大学

初めまして、呂晶晶と申し上げます。去年10月日本にきました、中国深圳からの留学生です
岩手のいいところに関する話を話したいです

去年の年末、忘年会があった日、私の会館のカードキーをおとしました。多分ですが、飲み放題の店へ行く途中、カードキーを落としたと思います。

そして、飲み会が終わりまして家に帰った時は、ドアの外に立ち続けました。ポケットの中を探してもカードキーは出てきません。寒い中、私は自分がかわいそうだと思いました。しばらく経って、ルームメイトが私を助けてくれて、無事に部屋に入ることができました。

新しいカードキーは2万円かかると聞いたことがあります。私にとってめちゃくちゃ高い金額です。忘れ物を確認するために、店に電話をかけてみました。でも店員さんから、忘れ物中にカードキーはありませんと教えてくれました。

翌日、道に沿って歩きながらカードキーを探しました。でも、何も探し出せないです。そのまま何日か経ち、まだ寝坊していた時に管理人さんが来てドアをノックしました。うとうととして起きました。管理人は「警察署からの電話です」と話しました

警察と聞くと、一般的に犯罪とか悪いことをしたときに呼ばれるイメージがあります。カードキーを忘れることは悪いことかなと半信半疑でした。まさか、日本の法律はこんなに厳しいと思いませんでした。

電話に出ると、「164号のカードキーを遺失ですか？」と聞かれました。警察はカードキーの番号を通じて私の住んでいるところを探し出したようです。警察から良かったら早く警察署へ取りに来てくださいと言われ、カードキーを取りに警察署に行きました。

カードキーを拾ってくれた方は優しい人です。そして、警察署の皆さんも優しかったです。これは岩手いいところでもあります。

これは私が初めて警察署へ行ったお話でした。



奨 励 賞

岩手で見つけたことと コロナ禍でできたこと

NGUYEN TRUNG DUNG (グエン チュン ユン・ベトナム)

岩手大学

私はベトナムから来ました。みなさんが知っている通りにベトナムでは雪がありません。冬でもほとんどに17℃くらいです。岩手は寒さで水道を凍られることがあってびっくりしました。私は現在、住んでいるアパートで水道が凍って、2週間もキッチンの水が出ませんでした。

私は岩手にいる間にスキー・スノボードに挑戦してみたいです。おとといに岩手大学の留学生たちと一緒に安比高原でスキー・スノボードをしました。毎年、岩手大学では年に一回にスキー研修を行います。今年は初めて参加しました。意外と楽しかったです。私は今年の4月に大阪で就職が決まったので、岩手にあと2ヵ月しかいません。その間にもう一回スキーをやりたいです。

最後にコロナ禍でできたことです。

コロナだったけど学業の成績がコロナの前より高かったです。私が岩手大学に入学したのは4年前です。2019年、私が1年生の時にコロナはまだありませんでした。授業は全て対面式で行われました。2年生になって、コロナのため全ての授業がオンライン形式でした。対面での授業は、分からないことがあれば、直接に友達とか先生に聞ける、でもオンラインでやると先生に聞くとか友達に聞くことはほとんど無かったです。もし分からないことがあれば自分で調べたり、教科書を何回も読んだり、わかるまで頑張りました。

コロナ禍でできたことの二つ目は就職ができたことです。私は去年の今ごろに20の会社に応募しました。コロナのために面接は全てオンラインの形式で行われました。会社まで行く必要がありませんので結構簡単で第一の希望の会社から内定を貰いました。

交流レポート

盛岡市

(公財) 盛岡国際交流協会

盛岡市文化国際課と(公財)盛岡国際交流協会は、盛岡市役所別館7階にあり、盛岡市の歴史・文化の特性を生かしながら、幅広い分野の国際交流に関する活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際交流の促進を図る活動をしています。

令和4年度は、(公財)盛岡国際交流協会設立30周年の記念の年であることから、記念式典、記念交流会を開催したほか、渡航制限の緩和により、友好都市花蓮市との相互交流が再開した喜ばしい一年となりました。

公益財団法人盛岡国際交流協会設立30周年記念式典・記念交流会

令和4年11月、おでってホールにて協会設立30周年を祝して記念式典を開催し、多数の賛助会員や関係者の皆様に御参加いただき、大変盛会となりました。来賓からの祝辞やビデオメッセージをいただいたほか、功労者表彰や記念講演を行い、国際交流のこれまでとこれからを考える貴重な機会となりました。

また、令和5年1月には、盛岡という星でBASESTATIONを会場に、記念交流会を開催しました。盛岡市への移住定住に関するお話や、京都精華大学前学長のウスビ・サコ氏によるオンライン講演があったほか、外国人市民を講師に6か国のゲームで交流し大いに盛り上がりました。



盛岡市・花蓮市友好都市交流

令和4年9月、花蓮市長をはじめとする花蓮市訪問団総勢15名が来盛し、盛岡秋まつりの山車運行に参加したほか、もりおか歴史文化館や先人記念館などを視察し、まつりの雰囲気にも盛り上がる盛岡の歴史と文化に触れていただきました。

また、令和5年2月には、盛岡市長、盛岡花蓮友好協会による盛岡市訪問団総勢21名が花蓮市を訪問しました。花蓮县政府や花蓮市公所、民間団体等との意見交換や交流会を通じ、今後の友好交流の促進に一層力を注ぐ決意をお互いに確認しました。



わたしの新しい生活

TRAN VIET KHANH LINH (チャン ベト カン リン)
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 日本語学科



私はベトナムの北部にあるナムディンから来ました。現在、盛岡情報ビジネス & デザイン専門学校日本語学科で勉強しています。来日して約10ヶ月経ちました。

コロナウイルスの影響で私は予定通り日本に来ることができませんでした。日本に来るまでの間は日本での生活を想像し、希望に満ちていた時もありましたが、時々、日本での生活を諦めようと思ったこともありましたが、でも、ずっと待っていたからこそ、日本に行くことが決まった時は、とてもうれしかったです。そして希望と熱意を持って日本に来ました。

日本に来て一番大変なのは、アルバイトと勉強の両立です。ベトナムにいた時は、アルバイトをしたことがありませんでした。最初は慣れていなかったため疲れやすくなり、何をすることも集中できませんでした。また、日本人とのコミュニケーションが難しく、ストレスがたまり、消極的な考え方をするようになりました。日本に来たことは正しい選択だったのか？自分にとって難しいことをやっているのではないかと思いました。でも、いつの間にかここでの生活にも慣れ、ストレスを感じた時は友達と話をしたり、家族に電話をしたりして、気分転換しています。また、勉強や試験がつらいときは、日本に来る前の熱意、願望、目的を思い出してがんばっています。

大変なこともあります、良い思い出や面白い体験もたくさんあります。友達と一緒に初めての桜や紅葉を眺めたり、雪で遊んだりしました。その時の友達の笑顔や笑い声は忘れられません。「人生最大の贈り物は友情である」という事を常に意識しています。毎朝、登校する時に誘ってくれる友達の声は自分のモチベーションをアップさせてくれています。それは大切にしたいと思います。これからも前向きで、初心を忘れず、困難な事も乗り越え、頑張っていきたいと思っています。そして日本にいる間は、日本中を旅行したりして、楽しい生活を過ごしたいと思っています。

留学生関係資料

令和4年度地域交流等実施計画調査結果

※ 2022年5月 調査時点

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
岩手県留学生交流推進協議会	外国人留学生による日本語スピーチコンテスト	R4.11～R5.2	岩手大学	岩手県内の高等教育機関に在籍している留学生を対象に、留学生が岩手で学習・生活していく中で感じたこと、発見したこと、これから挑戦してみたいこと、またはコロナ禍で工夫して達成したことなどを日本語でスピーチしてもらう。スピーチコンテストは一般市民の視聴を募り、留学生と地域住民の相互の国際理解を深めるとともに、多様な視点から岩手の良さを再発見していく。
岩手大学	留学生オリエンテーション	R4.4 R4.10	岩手大学	留学生及びチューターを対象とした、勉学・生活等に関するオリエンテーションを行う。
	ガーデンパーティー	新型コロナウイルス蔓延防止のため中止	岩手大学中央食堂前	留学生が自ら企画・主催して、地域の住民を招待し、それぞれの国の文化紹介や料理等を提供して交流を図る。
	盛岡さんさ踊り参加	R4.8	盛岡市内	盛岡地域の伝統文化行事である「さんさ踊り」に留学生が参加し、市民との交流を図る。
	不來方祭（大学祭）	R4.10	岩手大学	留学生と国際交流サークルが共同で模擬店を出店し、異文化理解と交流を図る。
	日本の伝統文化「着物着付け体験」	新型コロナウイルス蔓延防止のため中止	岩手大学	日本文化理解の一環として留学生が着物の着付け体験を行うことで、日本の伝統文化について学ぶ。
	岩手大学国際月間	R4.11	岩手大学	岩手大学では学生・教職員及び一般市民に対し、国際理解力の増進と国際交流への関心度を向上させ、各事業の波及効果の上昇を図ることを目的に、「岩手大学国際月間 -Iwate University International Month」を開催。海外派遣プログラムに参加した学生の体験談発表展示や報告会、協定大学の教員による英語での講演会等様々なイベントを集中的に開催。
	フィールドツアー（文化体験）	R4.12	陸前高田市 遠野市	東北地域の伝統文化体験や観光地・文化施設への訪問、見学を通して、留学生の交流促進、職業意識の高揚や日本と岩手の産業・文化・伝統への理解を深める。
	フィールドスタディ（スキー）	R5.1 R5.2	八幡平市	岩手大学在籍の外国人留学生が、母国で経験することの少ないスキーや雪遊び体験等を通じて、雪国である岩手の冬に親しみ、更に留学生相互、教職員並びに地域住民等との交流を図り、留学生生活への適応と留学生教育の効果を高める。
多文化多言語交流空間グローバルビレッジ	通年	岩手大学	岩手大学の日本人学生と留学生、地域の一般市民（一部の事業）が参加できる課外国際教育プログラム①グローバルイベント・ワークショップ（国際交流・異文化理解・地域理解）②日本語カフェ（日本語で留学生と交流、会話）③English Time（英語個別相談、指導）などを開催している。	

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
岩手県立大学 岩手県立大学 盛岡短期大学部 岩手県立大学 宮古短期大学部	国際交流バスツアー	夏季：R4.6頃 冬季：R4.12頃	岩手県内	留学生と日本人学生の交流推進を図ると共に岩手県の魅力を留学生に知ってもらう機会を提供
	風のモントで 国際交流	R4.5～11 (2回)	岩手県立大学	留学生による母国文化紹介や多文化理解講演会等の開催
	大学祭	R4.10.30 ～31	岩手県立大学	留学生と国際交流サークルが共同で模擬店を出店、海外研修パネル展示及び報告会の開催
	英会話交流事業 「English Time」	R4.5～7、 R4.10～1の期 間中 月2回	岩手県立大学	初級者から上級者まで、気軽に参加でき、英語で楽しく会話する交流の場を提供
	留学生等の派遣事業	随時	岩手県内	岩手県内の各種団体等が実施する国際交流イベントや国際理解促進事業への留学生の派遣
富士大学	留学生 オリエンテーション	年4回程度	富士大学	留学生対象に、寮生活、アルバイト等に関するガイダンスを実施
	ダニエル先生の 英語講座	R4.6 R4.11	富士大学	地元高校生や、地域住民を対象に英語講座を開催する。
	学外研修旅行	R4.8	平泉／中尊寺他	日本文化を体験し、日本への理解を深める。
	花巻まつり	R4.9	花巻市	祭りに参加して、日本文化を体験する。
	紫陵祭（大学祭）	R4.10	富士大学	模擬店を出店して、母国の料理を披露する。
	花南地区コミュニ ティ会議富士大学・ 中学生交流会	R4.12	花南振興 センター	地域の中学生とゲームや意見交換等を通じて交流を深める。
盛岡大学	スピーチコンテスト 英語文化学科	R4.11	盛岡大学	学内から参加者を募り、英語によるスピーチコンテストを行う。その際、留学生はゲストスピーカーとして発表する。
一関工業高等 専門学校	留学生 オリエンテーション	R4.4	一関工業高等 専門学校	留学生を対象に、学習や生活に関するオリエンテーションを行う。
	国際交流サークル	不定期	一関工業高等 専門学校	留学生が母国や、そこでの生活についてプレゼンテーションを行う。
	日本文化（書道） 体験	R4.10	一関工業高等 専門学校	書道体験をとおして、留学生に日本文化への理解を深めてもらう。
	日本文化（生け花） 体験	R4.10	一関工業高等 専門学校	生け花体験をとおして、留学生に日本文化への理解を深めてもらう。
	高専祭	R4.10.29 ～30	一関工業高等 専門学校	留学生が母国の料理を販売する。留学生の書道・生け花作品を展示する。
	留学生の話聞く会	R4.12	一関工業高等 専門学校	留学生の母国の文化を紹介し、寮生の国際社会への知見広げ、親睦を深める。

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校	生活オリエンテーション	R4.6	盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校日本語学科	盛岡国際交流協会の方から、ごみの捨て方やストーブの使い方など、日本の生活について知らなければならないことを学ぶ
	盛岡さんさ踊り	R4.8	盛岡市内	さんさ踊りに参加し、日本の文化を体験する
	課外授業	R4.9	盛岡市内	盛岡市内の観光地を巡り、盛岡に関する知識を深める
	りんご狩り	R4.11	高館農園	岩手・ベトナム青少年を支援する会会員のみなさんと交流を深める
上野法律ビジネス専門学校	春のスポーツ大会	R4.5.6	盛岡体育館	全学生対象。種目はソフトバレーボール。専門課程の日本人学生及び留学生、日本語学科留学生が参加し、交流を深める。
	就職セミナー	R4.5.11	上野法律ビジネス専門学校	全学生対象。外部から講師を招いて実施。スーツの着方やメイクの仕方等を学ぶ。
	課外活動	R4.7.15	岩手県内	留学生が岩手県内の観光地に行き、地域への理解を深める。
	酒買地蔵尊例大祭	R4.7 下旬	盛岡市材木町	希望学生がボランティアで参加。神輿担ぎや出店の手伝いを行い地域と関わる。
	秋のスポーツ大会	R4.9.30	盛岡体育館	全学生対象。種目は室内外の競技各種。専門課程の日本人学生及び留学生、日本語学科留学生が参加し、交流を深める。
	課外活動	R4.11.11	岩手県内	留学生が岩手県内の観光地に行き、地域への理解を深める。
	上学祭(学園祭)	R4.11.25 R4.11.26	上野法律ビジネス専門学校	全学生対象。一般客を招くイベント。留学生は自国の紹介、出店、ステージイベントなどを行う。
岩手県 (いわてグローバル人材育成推進協議会)	グローバルキャリアフェア	R4.11.19	岩手産業文化センター(アピオ)	県内留学生等の県内就職を支援するため企業との就職マッチングフェアを開催する。
	外国人を対象としたインターンシップ	R4.11 ~ R5.2 (予定)	各受入企業	県内留学生等の県内就職を支援するためインターンシップを実施。
	企業訪問	R4.8 ~ R4.9 又は R5.2 (予定)	未定	県内企業の取組を理解し、県内就職等に繋げることを目的に企業訪問を実施。(例年岩手大学との共催で取り組んでいるもの)
岩手県教育委員会	いわての地域国際化人材育成事業「イーハトーブの森~英語で未来を拓くワークショップ~」	R4.5 ~ R4.6 全2回	花巻、釜石	小5~高3を対象に、英語力に応じて2種類の英語のワークショップを開催する。【学校教育室 学力向上担当】
	いわての地域国際化人材育成事業「海外派遣研修」北米コース	R4.10 中~下旬	アメリカ合衆国	県内高校生12名を14日間アメリカ合衆国に派遣し、学校交流や企業訪問等を行う。
	雲南省教育交流推進事業	R4.9 ~ R4.11	岩手県内、中国雲南省	本県と中国雲南省の教員同士が、受入と派遣を通して相互交流を深める。

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
一関市	国際姉妹都市交流事業	通年	一関市内	国際姉妹都市との交流促進に資する事業の実施
	多文化共生事業	通年	一関市内	在住外国人や市民を対象とした研修会やワークショップの実施
宮古市	にほんご広場・ごみの出し方研修 ※多文化共生推進業務委託	R4.4.18	イーストピアみやこ市民交流センター	ごみの出し方をテーマに、宮古でのごみの出し方、ごみ出しに関連した日本語について理解を深めるほか、出身国での様子を紹介し合う日本語教室を開催
	茶道体験教室 ※多文化共生推進業務委託	R4.5.23	イーストピアみやこ市民交流センター	高校生ボランティアを講師に、茶道体験を通して日本文化への理解を深める
	にほんご広場・写真展示会 ※多文化共生推進業務委託	R4.6 下旬 ～R4.8 下旬	イーストピアみやこ市民交流センター	宮古の風景・人を対象としたフォトコンテストを開催
	英語スピーチコンテスト ※多文化共生推進業務委託	R4.8 月上旬	未定	テーマに沿って、自分の意見を英語で発表するスピーチコンテストを開催
	外国料理コンテスト ※多文化共生推進業務委託事業	R4.8	未定	宮古で作れる外国料理コンテストを実施
	みやこ秋まつり参加 ※多文化共生推進業務委託事業	R4.9	市内	みやこ秋まつり 1 日目の手踊りパレードに参加
	みやっこタウン参加 ※多文化共生推進業務委託事業	未定	市内	子供向け職業体験イベントに参加
	にほんご広場・災害時研修 ※多文化共生推進業務委託事業	R4.11.5	イーストピアみやこ市民交流センター	災害時の避難や日常の備え、よく使われる日本語について理解を深める日本語教室を開催
	にほんご広場・書き初め研修 ※多文化共生推進業務委託事業	R5.1.7	イーストピアみやこ市民交流センター	書道を体験するほか、ひらがな等日本語に興味を持つ、日本語教室を開催
	にほんご広場・にほんごスピーチコンテスト ※多文化共生推進業務委託事業	R5.3.5	イーストピアみやこ市民交流センター	テーマに沿って、自分の意見を日本語で発表するスピーチコンテストを開催

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
盛岡市	盛岡市・ビクトリア市姉妹都市交流事業	R5.2	カナダ・ビクトリア市	姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流事業
	盛岡市・花蓮市友好都市交流事業	R4.8 R4.9	台湾・花蓮市市内	友好都市台湾・花蓮市との交流事業
	キッズ・レッツ・プレイ	R4.5～R5.2	市内	未就学児・小学生を対象とした異文化理解講座
	中学生による国際交流コンテスト	R4.8	市内	市内中学生による国際交流をテーマにしたスピーチコンテスト
	ボランティア研修会	R4.6、9	市内	盛岡国際交流協会に登録しているボランティアの資質向上を図る事を目的とした災害、多言語対応をテーマにした研修
	異文化理解講座	R4.12	市内	外国籍市民を講師に料理講座や文化紹介を行う講座
	国際理解講座	R4.5～R5.2	市内	国際交流に関心のある団体等に対する国際理解を深める講座
	生活オリエンテーション	R4.4、10	盛岡情報ビジネス専門学校日本語学科等	在住外国人へ生活に役立つ知識を提供する講座
	日本文化体験講座	R5.1	市内	在住外国人と日本文化を体験し、交流を行う講座
	世界の屋台村	R4.7	岩手大学	岩手大学と連携し、外国籍市民が料理や民族舞踊で自国を紹介し、交流を図る事業
	外国籍市民との交流イベント	R4.12	市内	在住外国人と市民が一緒になって楽しめる交流イベント
	設立周年記念事業	R4.11	市内	協会設立30周年を記念し、記念式典・交流会を実施するほか
中学生海外研修	R4.11	カナダ・ビクトリア市	姉妹都市カナダ・ビクトリア市に市内中学生を派遣し、姉妹都市交流を促進する事業	
盛岡市教育委員会	盛岡市とアールラム大学との教育交流 (ALTの招聘)	通年 (毎年継続)	盛岡市立各小・中・高等学校	アールラム大学卒業生7名 (多くはSICEプログラム経験者) を招聘し、市立の中・高等学校に配置し、近隣の小学校にも派遣
	盛岡市とアールラム大学との教育交流 (大学短期留学生の受け入れ・SICEプログラム)	R4.8～R4.11	盛岡市内 (各小・中学校)	市立の中学校での英語授業への参加、市内でのホームステイをとおして、日米の教育実践の比較研究等に協力するための受け入れ事業。
	令和4年度米国アールラム大学留学生オリエンテーション	R4.8 下旬	盛岡市内	上記留学生と引率教授を対象に、盛岡市及び盛岡市の教育の概要について説明し、懇談。
	令和4年度米国アールラム大学留学生送別会	R4.11 下旬	盛岡市内	上記短期留学の終了にあたり、盛岡市滞在の最後の思い出になるよう、夕食会を開催。
滝沢市 (教育委員会)	令和4年度たぎざわ課題解決セミナー「グローバルなマナビ世界はひとつSDGs」	R4.7.30	ビッグルフ滝沢大ホール	SDGsに関する学びによる「地球規模課題への興味関心」を図ります。
	幼児国際理解交流会	未定	市内	保育園児が外国人と接し、諸外国について学ぶ機会を提供します。

団体名	事業行事名称	開催時期	開催場所	概要
公益財団法人 岩手県国際交流協会	外国人との交流会	毎月第一土曜日、隔月第三土曜日	オンライン及びアイーナ等	在住外国人との協働企画により、定期的に交流会や語学サロン等を開設する。
	2022 ワン・ワールド・フェスタ in いわて	R4.11.20	アイーナ国際交流センター等	在住外国人やボランティア、関係団体等との連携による国際交流イベントを開催する。
	フェアトレードデイ	未定	オンライン	フェアトレードを通じて国際協力の意識啓発を図るイベントを実施する。
	いわて災害時外国人支援体制構築事業	未定	アイーナ及び県内数箇所	災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の意識の醸成を図る取組みを行う。
	多文化共生地域づくりセミナー	未定	未定	外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするセミナーを開催する。
	多文化共生地域づくりワークショップの実施	未定	県内数箇所	外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたまちづくりについて考えるワークショップを実施する。
	グローバルキャリアフェア	未定	未定	留学生等外国人の県内企業への就職の切っ掛けとなる取組みを行う。
	外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等	未定	未定	留学経験のある学生等や県内在住外国人と会員企業の関係者が参加するワークショップや企業訪問を開催し、情報交流を行う。
花巻ホームステイ協会	ホームステイの受入れ	随時	会員宅	現在のところ未定です。
	会員研修会	未定	ホテル花城	花巻を訪れる海外在住者や外国人を講師に研修を行います。
	クリスマスパーティー	R4.12.18	ホテル花城	花巻在住の外国人を招き、交流を行います。
岩手県ユネスコ連絡協議会	2022年度ユネスコ運動岩手県大会	R4.11.19	一関市千厩町	県内ユネスコ会員が参加し、講演・実践発表等で研修を深める。
	SDGs セミナー			
	国際理解研修会			
フラップ岩手 (一般財団法人岩手県青少年会館)	国際交流事業 日本国際協力機構(JICA)受諾事業	R4.10	岩手県内	インドネシア青年研修員の受け入れを予定

岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況

(令和4年5月1日現在)

学校名	受入人数	国別内訳		経費種別内訳				学生種別内訳					
		国	人数	国費	政府派遣	岩手県費	私費	学部学生	大学院		研究生	科目等履修生	聴講生その他
									修士	博士			
岩手大学	173	中国	94	1	0	0	93	26	34	19	15	0	0
		モンゴル	16	3	0	0	13	1	3	12	0	0	0
		韓国	14	0	0	0	14	10	3	1	0	0	0
		ベトナム	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0
		タイ	7	5	0	0	2	0	5	2	0	0	0
		インドネシア	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0
		バングラデシュ	16	12	0	0	4	0	3	10	3	0	0
		マレーシア	7	0	4	0	3	6	1	0	0	0	0
		台湾	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		インド	3	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0
		カンボジア	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		エジプト	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
		カメルーン	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		ベナン	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
		ドイツ	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		ロシア	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		コンゴ共和国	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
オマーン	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
岩手県立大学	23	中国	12	0	0	0	12	0	10	2	0	0	0
		インドネシア	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0
		バングラデシュ	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
		インド	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
		アメリカ	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0
		オーストリア	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0
		ベラルーシ	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
岩手医科大学	3	タンザニア	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		アメリカ	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
富士大学	28	韓国	20	0	0	0	20	20	0	0	0	0	0
		中国	8	0	0	0	8	6	2	0	0	0	0
盛岡大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手県立大学 宮古短期大学部	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手県立大学 盛岡短期大学部	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
修紅短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一関工業高等専門学校	5	モンゴル	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0
		マレーシア	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		ペルー	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ブラジル	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	48	ベトナム	12	0	0	0	12	12	0	0	0	0	0
		ネパール	25	0	0	0	25	25	0	0	0	0	0
		ミャンマー	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	6	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0
		フィリピン	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
		スロバキア	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
上野法律ビジネス専門学校	38	中国	5	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	18	0	0	0	18	18	0	0	0	0	0
		ネパール	15	0	0	0	15	15	0	0	0	0	0
計	318		318	32	6	0	280	167	67	60	24	0	0

岩手県内高等教育機関における外国人留学生の受入れ状況

(令和4年11月1日現在)

学校名	受入人数	国別内訳		経費種別内訳				学生種別内訳					
		国	人数	国費	政府派遣	岩手県費	私費	学部学生	大学院		研究生	科目等履修生	聴講生その他
									修士	博士			
岩手大学	202	中国	106	0	0	0	106	25	35	21	19	0	6
		モンゴル	15	3	0	0	12	1	3	11	0	0	0
		韓国	17	0	0	0	17	9	3	1	0	0	4
		ベトナム	5	0	0	0	5	4	0	1	0	0	0
		タイ	12	9	0	0	3	0	8	2	0	0	2
		インドネシア	3	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0
		バングラデシュ	18	11	0	0	7	0	2	12	4	0	0
		マレーシア	7	0	4	0	3	6	1	0	0	0	0
		台湾	3	0	0	0	3	0	0	1	0	0	2
		インド	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
		カンボジア	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		パキスタン	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
		ルワンダ	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		エチオピア	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
		アメリカ合衆国	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		カメルーン	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		フランス	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
		アイスランド	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		ドイツ	3	0	0	0	3	0	0	2	0	0	1
		ロシア	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
コンゴ共和国	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0		
オマーン	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
岩手県立大学	25	中国	17	0	0	0	17	0	10	2	0	0	5
		インドネシア	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0
		バングラデシュ	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
		インド	2	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0
		アメリカ	2	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0
岩手医科大学	3	タンザニア	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	
		アメリカ	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
		中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
富士大学	29	韓国	20	0	0	0	20	20	0	0	0	0	
		中国	9	0	0	0	9	6	2	0	1	0	
盛岡大学	1	中国	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
岩手県立大学 宮古短期大学部	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
岩手県立大学 盛岡短期大学部	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
修紅短期大学	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一関工業高等専門学校	5	モンゴル	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0
		マレーシア	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		ペルー	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		ブラジル	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	71	ベトナム	14	0	0	0	14	14	0	0	0	0	0
		ネパール	34	0	0	0	34	34	0	0	0	0	0
		ミャンマー	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	15	0	0	0	15	15	0	0	0	0	0
		フィリピン	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
		スロバキア	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
		台湾	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
上野法律ビジネス専門学校	102	中国	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0
		バングラデシュ	49	0	0	0	49	49	0	0	0	0	0
		ネパール	49	0	0	0	49	49	0	0	0	0	0
計	438		438	35	6	0	397	253	70	64	26	0	25

岩手県内高等教育機関における外国人留学生数の推移

(令和4年11月1日現在)

学 校 名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年(H29)		2018年(H30)		2019年(R1)		2020年(R2)		2021年(R3)		2022年(R4)	
	5月 (H25)	5月 (H26)	5月 (H27)	5月 (H28)	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月	5月	11月
岩手大学	190	194	199	207	218	222	214	229	238	240	201	182	191	194	173	202
岩手県立大学	16	14	17	15	14	19	18	21	26	28	27	21	32	21	23	25
岩手医科大学	3	4	2	2	1	1	1	1	3	3	3	3	4	4	3	3
北里大学 海洋生命科学部																
富士大学	60	41	24	20	16	16	15	18	26	26	34	24	29	29	28	29
盛岡大学	2	3	4	3	2	2	3	3	3	4	1	0	1	0	0	1
岩手県立大学 宮古短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岩手県立大学 盛岡短期大学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修紅短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一関工業高等専門学校	3	7	8	8	6	6	7	7	7	7	6	6	5	5	5	5
盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	45	42	66	56	40	85	68	89	49	77	87	47	21	20	48	71
上野法律ビジネス 専門学校							21	26	32	69	56	40	28	28	38	102
計	319	305	320	311	297	351	347	394	384	454	415	323	311	301	318	438

編集 岩手県留学生交流推進協議会事務局(岩手大学国際課)

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18番34号
TEL 019-621-6076 FAX 019-621-6290
<http://iuic.iwate-u.ac.jp/suishinkyo/index.html>



※この広報誌はデータのみで作成し、本協議会のホームページに掲載しています。

令和5年3月発行